

委 員 会 行 政 調 査 報 告 書

令和6年10月2日

尾張旭市議会議長 殿

総務委員長
山下 幹 雄

本委員会は所管事務調査のため下記のとおり行政調査を行いましたので、報告します。

期 日 等	期 日	調 査 先
	令和6年7月30日	兵庫県神戸市
参 加 者	計 7 名	
	山下幹雄、いとう伸一、秋田さとし、芦原美佳子、大島もえ、	
	谷口武司、松原たかし	
調 査 項 目 及 び 内 容	若年層の投票率向上に向けた多角的な取組について	
	・若者のデザインによる選挙啓発物資の作成	
	・選挙事務従事者への若者の積極的な登用	
	・明るい選挙推進協議会の委員に若者を委嘱	
	上記各事業について、経緯・経過、効果等の聞き取り調査	
	(行政調査の成果等は別紙にて報告)	
そ の 他	参考資料は別添のとおり	

総務委員会行政調査報告書

7月30日に兵庫県神戸市を訪問し、行政調査を行った。

○学生が主体となって、SNSで投票を呼び掛けたりしたことから行政が動き、大学との連携で投票率向上の戦略が繰り広げられている。

○神戸市明るい選挙推進協議会の委員に大学生等を委嘱するなど、学生の意見を取り入れた啓発活動は一定の成果を上げている。

○投票行動を促す啓発グッズには、若者の発想が生かされており、デザイン性も含め、多彩な工夫がされていた。

○今後の取組として、子どもの頃に親の選挙と一緒にいった経験が将来の投票行動に影響していることや、低年齢児から主権者教育を実施している北欧では高投票率であることなどから、小中学校における選挙出前授業を積極的に展開していく方針であるとのことであった。

神戸市においては、若年層の投票率向上に向けた様々な工夫がされており、本市においての取組を進める上での、気づきや参考となったものである。



兵庫県神戸市にて